

科目名	専門演習Ⅲ Seminar III						
科目担当者	森田 英二 MORITA Eiji						
単位数	4	配当年次	4年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	演習Ⅰ・Ⅱでの研究を通して、最も関心のあるテーマを卒業論文として作成する。卒業論文の作成は、専門的な研究成果の発表の機会である。ここでは、論理的な文書の組み立ても学習する。具体的には、問題提起とテーマ設定、その論点に対する研究の内容と、研究を通して得られた結論についてまとめていく作業となる。論文作成においては、問題意識を持って関心のあるテーマを探し、十分に資料収集を行う。そこから自分なりの研究方法で執筆を継続して結論を導く作業となる。						
授業の到達目標	講義を通して、以下の目標を達成する。 ①卒業論文の作成を通して、知的探究心が養われている。 ②専門演習の全ての学習により、自分の専門性が確立している。						
授業計画・内容	1	ガイダンス	16	論文作成(個人作業 1回目)			
	2	卒業論文作成の手順	17	論文作成(個人作業 2回目)			
	3	先行研究の調査①	18	論文作成(個人作業 3回目)			
	4	先行研究の調査②	19	論文作成(個人作業 4回目)			
	5	資料収集とテーマ設定(図書館)	20	論文作成(個人作業 5回目)			
	6	資料収集とテーマ設定(情報通信ネットワーク)	21	論文作成(個人作業 6回目)			
	7	資料収集とテーマ設定(個別面談)	22	論文作成(個人作業 7回目)			
	8	個別指導(グループ A)	23	論文作成(個人作業 8回目)			
	9	個別指導(グループ B)	24	論文作成(個人作業 9回目)			
	10	個別指導(グループ C)	25	論文作成(個人作業 10回目)			
	11	全体指導(1回目)	26	論文作成(個人作業 11回目)			
	12	全体指導(2回目)	27	最終報告会(グループ A)			
	13	全体指導(3回目)	28	最終報告会(グループ B)			
	14	中間報告の準備	29	最終報告会(グループ C)			
	15	中間報告会	30	まとめ			
授業外学修 (事前学修)	毎回、卒業論文のテーマに関する情報検索と資料収集を行い、構想を練ってみる(毎週2時間程度)。						
授業外学修 (事後学修)	毎回、作成した文章の推敲を重ねる(毎週2時間程度)。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	個人研究の成果 授業への取り組み姿勢				60% 40%	①、② ①、②	
成績評価基準	秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	特に指定しない。						
参考文献	特に指定しない。						
その他	<望ましい受講生> 幅広い視野を持って積極的に取り組む姿勢を持っていること。 <あらかじめ受講してほしい科目> 「コンピュータ概論 A(I)・B(II)」 <併行して受講してほしい科目> 「原価計算論Ⅰ・Ⅱ」「情報システム論」「データベース」						